

平成 30 年 8 月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 扇 谷 剛 四

書記 工 藤 貴 裕

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 平成 30 年 8 月 31 日（金） 15 時 30 分～17 時 10 分

◆場 所 壺番館 3 階 共用会議室

◆出席委員

教 育 長	高 橋	睦 麿	教育長職務代理者	柴 田	仁 市 郎
委 員	太 田	忍 委	員	池 野	暢 子
委 員	佐 浦	弘 一			

◆事務局

教 育 部 長	阿 部	光 浩	教育総務課長	本 田	幹 枝
学校 教育 課長	遠 山	勝 治	生涯 学 習 課長	伊 藤	英 史
市民交流センター館長	伊 東	英 二	教育総務課総務係長	扇 谷	剛 四
教育総務課主査	工 藤	貴 裕			

◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長報告
 - ① 第 3 回管内教育長会議について
 - ② 本市の教育活動の状況について
- 5 教育部長報告
 - ① 市議会定例会等について
- 6 専決処分報告
 - ① 教育に関する事務にかかる議案に対する意見について（平成 30 年度塩竈市一般会計補正予算）
- 7 議案
 - ① 議案第 10 号 塩竈市文化財の指定について
- 8 その他報告
 - ① 平成 30 年度全国学力・学習状況調査について
 - ② 「学ぶ土台づくり」市町村等支援事業を活用した幼保小連携の拡充について
 - ③ 塩竈市社会教育委員の会議について
 - ④ 塩竈市民交流センター審議会（平成 30 年 8 月 8 日開催）について
- 9 閉会

1 開会 15時30分

2 前回会議録委員の署名

佐浦委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

柴田委員と池野委員を指名

4 教育長報告

(1)高橋教育長から、以下のことについて報告

- ① 第3回管内教育長会議について
- ② 本市の教育活動の状況について

[主な質疑]

- ・ 柴田委員 みなとまち100km徒歩の旅は何処から何処まで歩くのか。
- ・ 高橋教育長 学校等に泊まりながら、二市三町を歩くというもの。
- ・ 佐浦委員 浦戸諸島にも行ったのか。
- ・ 高橋教育長 浦戸諸島には行っていない。
- ・ 柴田委員 塩竈市駅伝大会については、対象は中学生か。
- ・ 高橋教育長 その通りである。加瀬沼公園内にコースを作り一人3kmくらい走るもの。
- ・ 柴田委員 塩竈駅伝大会なので、塩竈の駅を繋いで走るのも良いのではないか。
- ・ 高橋教育長 警察の許可が下りないため、公園内にコースを設定した経緯がある。

5 教育部長報告

(1)教育部長から、以下のことについて報告

- ① 市議会定例会等について

[主な質疑]

- ・ 高橋教育長 コンクリートブロック塀の安全対策についての工事は終了し、三小、月小はプールの脇、三中は足洗い場の脇のブロック塀について、取り壊し、代わりにフェンスを設置した。
- ・ 佐浦委員 市議会総務教育常任委員協議会でも質問があったかと思うが、全国学力・学習状況調査結果について、塩竈市は非公開としているが、な

ぜか。

- ・ 高橋教育長 学校ごとの順位を含めて公開してはどうかのご意見もあったが、必要以上に競争心を煽ることは問題だということと、順位がでるため、最下位の小中学校の児童生徒が、自分自身が通っている小中学校について、誇りが持てなくなったり、マイナスのイメージが付いてしまうことは得策でないことから、順位については非公開とさせていただくと答弁したところである。ただ、数値については、学校便りを通じて保護者に通知しているところである。

6 専決処分報告

(1) 本田教育総務課長から、以下のことについて報告

- ① 教育に関する事務にかかる議案に対する意見について（平成 30 年度塩竈市一般会計補正予算）

〔主な質疑〕

なし

7 議案

(1) 伊藤生涯学習課長から、以下のことについて報告

- ① 議案第 10 号 塩竈市文化財の指定について

〔主な質疑〕

- ・ 佐浦委員 文化財の指定の進め方はどのようになっているのか。
- ・ 伊藤生涯学習課長 文化財保護審議会へ教育長が諮問し、答申を受けて塩竈市教育委員会から議決をいただくという流れになっている。
- ・ 佐浦委員 文化財保護審議会へ挙げる前に予備審査はあるのか。
- ・ 伊藤生涯学習課長 申請を受けたら、公立博物館の学芸員の方や文化財保護審議会の方などから調査にご協力をいただき、文化財保護審議会で図るべきだろうという結果を受けてから、文化財保護審議会で審査していただくこととなっている。

8 その他報告

(1) 遠山学校教育課長から、以下のことについて報告

- ① 平成 30 年度全国学力・学習状況調査について
- ② 「学ぶ土台づくり」市町村等支援事業を活用した幼保小連携の拡充について

〔主な質疑〕

- ・ 佐浦委員 全国学力・学習状況調査について、学校間での差が大きいということか。
- ・ 遠山学校教育課長 学校間での差も見られるが、全体的に全国平均、県平均より低くなってしまった。
- ・ 佐浦委員 前回調査の県平均と今回調査の県平均の減少割合と塩竈市の前回調査と今回調査の減少割合は同じように見える。
- ・ 高橋教育長 今回調査では宮城県全体として、他県と比べると低いようである。
- ・ 遠山学校教育課長 塩竈市としての傾向がどのようなものか見てみると、各学校の学力向上の取組みが年間を通して実効性がある対策となっていないという点と、児童生徒の家庭環境による点に原因があると考えている。議会等では中々発言しづらい部分ではあるが、発達障害の児童生徒の割合が全国平均 6.5%に対して、本市の場合、14.9%と倍以上の児童生徒がいる。全国学力・学習状況調査の平均正答率の算出方法が、受験者数全体の平均正答率を一旦足して、それを受験者数で割るという方法のため、学級の中にゼロに近い児童生徒がいた場合、平均が著しく下がってしまう。また、本市の場合、欠損家庭の児童生徒数と要保護・準要保護の児童生徒数が県内でトップクラスであり、例えば準要保護の児童生徒の割合の県内平均は 10%前後となっているが、本市の場合、20%と県内トップとなっている。全国学力・学習状況調査の数値が高い市町村をみると、要保護・準要保護の児童生徒の割合が 5%前後となっていることから、児童生徒の親の社会経済的な要因もあるのではと考えている。具体的には、平成 29 年度にお茶の水女子大学において文部科学省の委託を受けて実施された調査で結果が出ており、社会経済的背景、つまり家庭所得、父親学歴、母親学歴の合成指標で分析されたものがあり、社会経済的背景が高いところは正答率も高く、逆に社会経済的背景が低いところは正答率も低くなるという国の調査結果が出ていることから、本市においては、そうした部分もカバーしながらの学力向上対策をすべきだと考えている。
- ・ 高橋教育長 全国学力・学習状況調査の結果を受けて、先週から各小中学校を私と指導主事で学校訪問をおこなっており、来年度に向けての取組みや試験までのスケジュールを立てるように指導してきたところである。また、本市の子供達は試験慣れしていない部分があるので、年間を通して本試験に向けての取組みを実施するように指導してきたところである。
- ・ 佐浦委員 試験慣れしていないという部分はあるかと思う。通常の学校のテストと違い、全国学力・学習状況調査のテストでは、全体の時間配分やある程度のコツというものも必要になってくる。
- ・ 高橋教育長 その通りである。塾に通っている児童生徒は慣れている部分もあるが、通っていない児童生徒は慣れておらず、時間切れによって、正答できる学力はあるのに回答できないということもあるので、来年度に向

けて、そうした部分についても指導するように伝えたところである。

- ・ 遠山学校教育課長 全国平均と本市との差は、問題数にすると、小学校の場合、0.4~0.7 問差となっており、全員が 1 問ずつ正答できれば、全国平均を上回ることができる。数値として見てしまうと、離れているように見えてしまうが、問題数で見ると殆ど差が無いところまで、本市の学力は向上してきている。

(2)伊藤生涯学習課長から、以下のことについて報告

③ 塩竈市社会教育委員の会議について

[主な質疑]

- ・ 池野委員 全国的に図書館の利用者数は減少しているのか。
- ・ 伊東市民交流センター館長 全国的にもインターネットの普及の影響からか減少傾向にある。

(3)伊東市民交流センター館長から、以下のことについて報告

④ 塩竈市民交流センター審議会（平成 30 年 8 月 8 日開催）について

[主な質疑]

- ・ 柴田委員 仲よしクラブとは、どのようなものか。
- ・ 伊藤生涯学習課長 子育て支援課でおこなっている放課後児童クラブのことである。
- ・ 柴田委員 指定管理になったとはどういうことか。
- ・ 伊藤生涯学習課長 昨年度までは市直営で実施していたが、指定管理者制度を導入し、業務委託しているもの。

9 閉会 17 時 10 分

《会議録署名委員》

1 番委員

(柴田委員)

3 番委員

(池野委員)